



【野球】

野球は、7町会の参加のもと、内田運動広場にて6試合が行われました。決勝は、小池町会に競り勝った白川町会と

平成28年7月3日(日)に第69回寿地区球技大会が開催され、6種目7競技が寿地区内ほか、8会場で実施されました。季節柄、雨天の心配がありましたが、選手をはじめ、大会役員の球技大会に対する熱意によって天候にも恵まれ、全ての競技を無事に実施することができました。



【排球】

小雨が降り、朝から蒸し暑

2試合を完勝した百瀬町会でした。二回裏のチャンスで打で3点先取した白川町会が逃げ切り、優勝旗を手にしました。(館報編集委員 西澤 俊彦)

第69回 寿地区球技大会



世帯数 5,959戸
人口 14,483人
(平成28.7.1現在)

第69回寿地区球技大会総合順位

1位	百瀬町会
2位	竹淵町会
3位	白川町会
4位	小池町会
5位	白姫町会
6位	寿田川町会
7位	下瀬黒町会
8位	上瀬黒町会
9位	竹原町会
10位	赤木町会
11位	寿田町会
12位	豊町会

(館報編集委員 百瀬 肇)



【ゲートボール】

会場の白川農村公園には、コーン、コーンとボールを弾く乾いた音が響いています。選手の手皆さんは真剣に競技に取り組んでおられますが、やはりこの競技で勝敗を左右するのはチームワークでしょうか。

くなくなった寿体育館に於いて排球の試合が行われました。6町会のチームで熱戦の火ぶたが切られましたが、戦いを制し頂点に立ったのは百瀬町会でした。おめでとうございませう！そして各チームの皆さん、お疲れ様でした。(館報編集委員 小林 光由)



第49回寿地区駅伝大会総合順位

1位	百瀬町会
2位	寿田川町会
3位	寿田町会
4位	白姫町会
5位	下瀬黒町会
6位	小池町会
7位	白川町会
8位	竹淵町会
9位	赤木町会
10位	上瀬黒町会
11位	竹原町会
12位	豊町会

(館報編集委員 百瀬 肇)

平成28年5月22日(日)快晴の空のもと12町会が参加して『第49回寿地区駅伝大会』が開催され、百瀬町会が一位を奪還して優勝しました。交通事情等の悪化により駅伝コースが大幅に変更された3年目の今年も、白瀬瀬を中核とした農道を走るコースでの開催となりました。寿体育館での開会式終了後、8時50分に寿豊丘の道祖神横を各町会の選手が一斉にスタートしていきました。スタート前の緊張感の中レースが始まり、朝とはいえず暑い日差しが射すコースを抜

【第49回寿地区駅伝大会】

百瀬町会が首位を奪還して優勝！
第二位 寿田川町会・第三位 寿田町会



わがまちこの人

綺麗な薔薇が咲き揃う御宅があります。町会長を一期、その後は副会長を歴任されている金井弘幸さんのお庭です。毎年綺麗に咲かせるコツを花を愛でながら伺って来ました。



Q「何株育てているのですか。」

A「地植え9株・鉢16株でほぼイングリッシュローズです。」

花弁が多く良い香りがする事と育てやすいので選んでいます。色は優しい色調を選んでいきます。

Q「綺麗に咲かせる為には何が大変ですか。」

A「今は一番花といわれる花が綺麗に咲き



大敵バラゾウムシとの闘いの始まりです。3㎜くらいの吻の長い虫が蕾の下に食い込みを入れ枯らします。この

揃っています、この為に一

年間の生育プログラムが有り、これに沿って作業があります。

Q「先ず、することは何ですか?」

A「1月はお休み(乾燥しすぎは枯れるので水をやります。)

2月は剪定作業で咲き揃った姿を想定して枝を切りま

す。続けて鉢物の植え替えをして病気対策に石灰硫黄合剤を塗布します。

3月末には芽吹きとなりますので出芽状態を確認し余分な蕾は除きます。ここからは2週に1回の防虫防疫の薬剤を散布します。

4月は薔薇以外の花の手入れで手一杯ですが蕾が出始めて、気温が上がったら薔薇の



が始まります。続いてイングリッシュローズの一番花の開花です。およそ半月続きます。豪華な花と香りで満ち溢れます。

栽培者には至福の時です。

6月に入ったら咲いた枝の切り戻りで二番花に備えます。(四季咲の薔薇は次々に花をつけます。)三番花が咲く梅雨明けには大きく切り戻して秋の開花に備えます。秋の開花は9月下旬に終わります。これで花柄を切り、今年の花は終わりです。(薬剤散布と施肥は続きます。)

11月勤労感謝の日頃に来年の花の為の施肥の大仕事が終わると今年の薔薇の生育作業は終わりです。

「お聞かせいただいただけでも疲れる大変な作業が続くのですね!これからは年間の苦勞の結果が実ったのだと思

いながら見させていただきま

虫を退治できる薬品はありません。見つけたら指でつぶします。また、鉢の薔薇には2週おきに肥料を与えます。

5月12日～6月3日の間

寿小学校 3年生

地域探検
学習支援



に、寿小学校3年生がクラスごとに分かれて地域探検に出かけました。

19日は、4クラスが昇降口前で8時30分から出発式を行い、元氣よく白川、白姫地区の探検に出かけました。

寿史談会の方々が中心となり、白川公民館の古御堂や白姫地区の弥勒堂、神代桜など地区の文化財や歴史についての解説を行いました。



「今、皆が立っている所は昔、牛伏川が流れていたんだよ。」など見

学箇所の説明をして下さる方の話を聞きながら、子ども達は一

生懸命ノートにメモをしていました。

後日、社会の授業で習った地図記号を使い先生が撮った

写真を貼ったりして、自分達

がどんな所に住んでいるのかまとめるそうです。



寿ご近所
大学

寿公民館で6月20日、超少子高齢型人口減少社会を迎え、「寿地区の皆さんが寿地区でいつまでも安心して暮らしていくこと」を目的として、寿ご近所大学の講座が開催されました。

医療制度の現状や生活習慣と認知症の関連、介護予防のための運動、介護保険制度や地区における支え合いなどについて、10月まで全5回の講座が計画されています。

1回目の今回は、地元の前澤医院の前澤秀彦医師が講師を務め、「高齢化の現状と課題」について講演し約50名が聴講しました。

健康長寿のための3つの柱として「栄養(食と口腔)」「身体活動」「社会参加」をあげました。これは高齢者自身が、「しっかりと噛んで、しっかりと食べ、しっかりと動く、そして社会性を高く」という基本理念で、より早期から自発的な行動に出られるかが最も重要なことと指摘されました。

今後の講座予定は、寿公民館発行の「寿公民館なう!」にて、毎月広報・募集案内を載せますので是非大勢の参加をお待ちしています。

(館報編集委員 清水 壽雄)

(館報編集委員 松崎 晴美)

(館報編集委員 清野 優美)